

カリキュラム・教科書・アセスメントコンポーネント

ニュースレター（第4回）

本プロジェクトのロゴ決定！

待ちに待ったプロジェクトのロゴが完成しました。教育案件らしく「本」とミャンマーの教育色である「緑」を基調とし、プロジェクトの通称「CREATE」（Curriculum Reform and Teacher Education の略）が下部に大きく示されています。「これから新しい教育を創造していくのだ！」という意気込みの感じられるデザインと自負しています。複数の素案の検討、プロによるデザイン、現地にいるプロジェクトメンバー・スタッフの投票を経てできあがりしました。このロゴは、9月22-23日に開催された教師教育シンポジウムで正式にデビューし、関係各方面に周知されたところです。今後、このロゴと一緒に本プロジェクトを積極的にアピールしていきたいと思っています。



ヤンゴン日本人学校との協力開始

9月9日（火）よりヤンゴン日本人学校と本プロジェクト（CREATE）との協力活動が始まりました。具体的には、ヤンゴン日本人学校で行われている日々の授業をカリキュラム開発チーム（CDT）に公開していただき、授業参観の後、授業担当の先生と CDT による質疑応答の時間をもつていただくというものです。この活動の目的は、新しく開発された教科書が教室でどのように使われるのか、言い換えると、問題解決や探究的な学習を取り入れた児童中心型アプローチ（CCA）の実践において教科書はどのような役割をもつのか、について各 CDT に具体的なイメージをもってもらうことです。このイメージがあるか否かによって、教科書開発の進捗に違いが出るとともに教科書内容の質においても大きな差が出てくるのではないかと考えています。

ちなみに9月は以下のように8回にわたり国語、算数、理科、社会、体育、音楽、図画工作、英語、道徳についての各教科の授業参観と先生方との討論が行われました。CDTメンバーは大変熱心に授業実践に見入っており、また討論の場でも日本のカリキュラムや授業内容の構成について積極的に質問が出されていました。今後も引き続きこの活動を継続していく予定です。



日付	教科・学年	単元名
9月9日	体育(1・2年)	マットを使った運動遊び
9月10日	社会(3年)	店で働く人々
9月11日	理科(6年)	土地のつくりと変化
9月16日	図工(4年) 音楽(5・6年)	線を集めて織る、編む、組む 世界のいろいろな国の楽器を楽しもう
9月18日	算数(1年) 算数(6年)	足し算 計算のきまり
9月22日	道徳(6年)	自分の中にある誠実な心「手品師」
9月23日	国語(2年)	音読劇をしよう「お手紙」
9月25日	英語(5年)	英語の歌、アルファベットの書き方、長文読解

BERDCの1階にDEPT出張所？

9月15日（月）より教育省教育計画訓練局（Department of Education Planning and Training: DEPT）のカリキュラム課の指示により、本プロジェクト（CREATE）事務所のある基礎教育研究開発センター（Basic Education Research Development Center: BERDC）ビルにCDTメンバーを統括管理するためのDEPTの出張所が設置させることになりました。現在、責任者として中等理科専門の担当官が1階の図書館の一角に逗留しています。

小学校低学年のミャンマー語読解力は驚くべき低さ！

今年8月「初等低学年読解力調査（Early Grade Reading Assessment: EGRA）」の結果が発表されました。この調査は世界銀行、オーストラリア、Save the Childrenによって本年1月ヤンゴン管区の小学校1～3年生、約1600名を対象に行われたものです。この調査結果によれば、小学校低学年児童の読解力は極めて低く、学年別に定められた目標を達成している児童はほとんどいないと報告されています。もう少し具体的な数値をあげると、1年生で100%、2年生で87%、3年生で72%の児童が目標に達していないという結果が出ています。

この調査対象はヤンゴン管区の小学校であったことから94%の児童がミャンマー語を母語としていると説明されています。ミャンマー語を母語とする児童ですら十分な読解力が身に付いていないという結果ですから、少数民族地域ではさらに悪い状況であることは容易に推測できます。このことは、低学年における教科書開発に際し、その記載方法について慎重に注意を払っていかねばならないことを意味していると考えています。

CDT結成1周年を祝う

2014年9月14日、CDT結成から早や1周年を迎えました。本プロジェクト（CREATE）は今年5月25日正式に開始されましたが、実は、それ以前の2013年からJICAは「初等カリキュラム」と「教師教育」の2分野において情報収集調査を実施しており、初等カリキュラム情報収集調査の実施時に教育大臣からの任命でCDTが結成されました。結成当時48名でしたが、その後、様々な事情から6名が脱退、新たに9名が参加し、現在51名となっています。1周年を記念して、各教科CDTではケーキを囲んでお祝いをしました。



朝日新聞の取材を受ける

9月26日（金）、本プロジェクトが新聞の取材を受けました。取材当日は、まず45分程度本プロジェクト（CREATE）内容についてプロジェクト専門家への質問があり、その後、30分程度かけて算数CDTと理科CDTの作業を見学されました。見学の時、CDTメンバーにいろいろな質問をされ、その中には「教科書の内容が大きく変わることについて戸惑いなどはありますか？」や「ミャンマーのものの教科書の方が優れている点はどこですか？」といったものもありましたが、「現在の教科書は20年前に作成されており内容が時代に合わなくなっているため、大きく変わって当然」、「現在の教科書は説明がほとんどなく暗記が強要されている。しかし、新しい教科書は説明をしっかりと記載し、子どもたちが本当に理解できるように工夫している」等、CDTは自信をもって堂々と回答しており、これまで彼らと一緒にやってきた成果が少しずつ実ってくることを感じ嬉しくなりました。

以上